

平成31年3月27日

豊川市議会議長 野本 逸郎 様

総務委員長 榊 原 洋 二

総務委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務についての調査結果を報告いたします。

1 調査項目

(1) ふるさと納税について

平成20年に個人住民税における寄附金税額控除として「ふるさと納税」がはじまり、平成25年ごろから市民への認知度・関心も年々高くなってきている現状から、本市もふるさと納税額の向上を図らなければならない状況から、重要事項と考え、調査を行いました。

- ア ふるさと納税の取り組みについて
- イ 特産品について
- ウ ふるさと納税のPRについて

(2) 郡山市シティセールス基本方針について

本市は平成24年8月にシティセールス戦略プランを策定し推進してきたが、更なる展開を模索する状況から、重要項目と考え、調査を行いました。

- ア 基本方針の概要
- イ 取り組みの成果
- ウ 市民・団体との連携
- エ 課題・問題点

(3) 新庁舎建設について

本市本庁舎の新設については、継続懸案事項としながら大きな進展が見られない現状から、重要項目と考え、調査を行いました。

- ア 新庁舎建設に至った経緯
- イ 新庁舎建設のコンセプト
- ウ 新庁舎の特色
- エ 現状

2 調査内容

別紙＜調査経過＞のとおり。

3 調査結果

(1) ふるさと納税について

① 本市の状況

平成20年度の8件から平成29年度の212件へと、年々小規模ではあるが着実に件数を増やしてきている。返礼品についても特産物を活かした商品開発を地元企業・地元個人商店と取り組んでいる。しかし、内容面で比較すると、寄附総額平成20年度の35,430,391円から、平成29年度25,305,996円と減額となっている。制度の認知度は向上してきていると感じられるが、各自治体の返礼品開発や特産品のPR合戦からは後れをとっていると言わざるを得ないと思います。

② 先進都市の状況（山形県天童市）

ア ふるさと納税の取り組みについて

平成20年当時は総務部市長公室が担当していたが、平成28年からふるさと納税推進室が新設された。

イ 特産品について

平成25年までは返礼品はなく簡素な令状のみだったが、平成26年からは特産品の要件と事業者の要件を満たした品物を天童市のPRを兼ねて返礼品としている。

ウ ふるさと納税のPRについて

過度なPR活動はないが、メディアの取材は受けている。

③ 総評

ふるさと納税について、返礼品を寄附額の3割以下にとの総務省通達が平成28年と平成30年に相次いで出されたことで、全国の自治体の返礼品が注目されることとなった。メディアに注目される事で寄附件数は全国的に増加している。本市も寄附件数は年々増加している。市役所ホームページ上では、ふるさと納税を「とよかわ応援基金」として表記した。平成31年1月9日より、クラウドファンディングの呼びかけも行っている。市内の企業・商店とも独自の特産品開発に力を入れていると感じられる。この現状で寄附額が減少していることが残念でならない。メディアに取り上げられる事もないわけではないが、本市出身者へのPRが実っていないと言わざるを得ません。返礼品開発や、商品の魅力を伝えるホー

ムページづくりに加え、シティプロモーションとの連携も模索しながらの対策が求められていると思われます。

(2) 郡山市シティセールス基本方針について

① 本市の状況

本市は平成24年からシティセールスに取り組みはじめ、現在、平成28年からの10ヶ年戦略プランのさなかにあります。これまでに、B-1グランプリ全国大会開催を契機にマスコットキャラクターいなりんの活用を含め、本市の認知度・イメージ向上を図ってきました。「きらっと☆とよかわっ!」をキャッチフレーズに取り組んでいます。市内の各地の自然や祭りをクローズアップした取り組みによって、市外の方だけでなく市民に対するPRにつながっているのを感じています。

② 先進都市の状況（福島県郡山市）

ア 基本方針の概要

- 1 都市イメージを積極的に情報発信していきます
 - 2 わがまち郡山として誇れる喜びをみんなで共感していきます
 - 3 魅力ある資源を発見・創出していきます
- キャッチフレーズ「東北のウィーン楽都郡山」

イ 取り組みの成果

平成21年からの取り組みによって根付いた楽都

ウ 市民・団体との連携

音楽による交流や発信が新たな連携を生み出している

エ 課題・問題点

シティセールス推進協議会、シティセールス庁内推進委員会の2本柱で対応

③ 総評

本市のシティセールスについては、現存する資源を活かし、市内外の方に魅力あるとよかわを伝えていると感じていますが、先進都市の現状を体感させていただいたことで、もっととよかわを知ってほしい・感じてほしいと思うようになりました。郡山市の取り組みは度々地元メディアに取り上げられる事でPRにもなり、更に協働の充実感向上になっているように感じました。基本方針は大事な柱であるので、策定時の思いを大事にしつつ、時代の変化が激しく情報ツールやSNSの活用に関しての対策が求められていると思われます。

(3) 新庁舎建設について

① 本市の状況

本市の新庁舎建設は長年の継続懸案であるので、昨年の会派視察に続き今年度は埼玉県桶川市に伺った。本市本庁舎は1市4町の合併後も旧豊川市庁舎を継続使用していて、バリアフリー改修工事は随時行っているものの、老朽化も激しく市民からも新庁舎の建設が望まれていると感じています。しかしながら、現庁舎の立地条件が非常に良い事から、移転してまでの新築が望まれているかと言えば、判断が難しくなり、財政状況と業務のスムーズな移行が課題となり、進展がないまま現在に至っている。各支所の業務を集約し効率化を図る上でも、新しいPC環境設備を考えると、新築しないと整備自体が難しいと思われる。更に、南海トラフ地震の想定からすると、強固な災害対策本部が設置できる庁舎が望まれていると感じているのが現状です。

② 先進都市の状況（埼玉県桶川市）

ア 新庁舎建設に至った経緯

平成23年3月の東日本大震災を受け、同年6月に市議会総意として現庁舎位置に新庁舎建設を実現するべきとする要望書が提出され、同年9月現庁舎位置に建設することを決定した。

イ 新庁舎建設のコンセプト

「立地特性・周辺環境に配慮した庁舎」

「建設コストの縮減及び維持管理の容易性やランニングコストの低減に配慮した庁舎」

ウ 新庁舎の特色

建物の高さを抑える為の直天井仕上げ

旧中山道の宿場町を考慮した旅籠風外観

自然エネルギーの活用（地中熱と井戸水の空調利用）

エ 現状

公募型プロポーザル方式の選定

基本設計者選定審査委員会による2段階審査（1次参加表明書・2次提案書）、実施設計は基本設計者と随意契約

③ 総評

先進都市の現状視察を通じ新築新庁舎の良さを感じました。簡素化する中にも必要な設備には費用を割いている状況もみられました。しかしながら、いまだにどこに行けばいいの？と質問する市民が絶えないという現状も伺いました。わたくし自体も本市の本庁舎には愛着があり外観

も長年の親しみがあります。IT化が進むスピードは速く新庁舎に求められる姿も、エコロジーや地産地消の材料活用・ユニバーサルデザイン・防災・減災等々数え上げたらきりがなくなりそうです。利用する市民にとっても使いやすいかとはまた違った視点からの意見交換も必要なのではないかと感じました。

4 総務委員会からの提言

(1) ふるさと納税について

ふるさと納税の充実は今後の豊川市にとって重要であると考えます。競争も激しい中、目立って注目を集め続けることも難しいと思います。堅実にしかし着実に増進していく方策のために、返礼品アンケートや関東圏在住者へのアンケートなど生の声を収集することが次なる一步の契機になるのではないかと思います。

新しい試みのクラウドファンディングによって子供たちの教室に空調設備が早期に設置されることを期待します。

(2) 郡山市シティセールス基本方針について

本市の魅力を発信することは難しいことではありませんが、多くの方に影響を与え、本市に+α還ってくるまで見越して企画することは本当に難しいと思います。本市独自の魅力発信を継続していただくことが重要であると感じます。郡山市で行われていた市民と共に創る楽都のように、市役所・市民・企業総ぐるみのまちづくりが必要だと感じました。

(3) 新庁舎建設について

懸案事項継続中の新庁舎建設ではありますが、桶川市の建設経緯を聞き、新庁舎を拝見したところ、早急に進む事で市民が置き去りになってはいけないと感じました。誰もが新庁舎を望んでいることは明らかですが、場所や設備をはじめ、使用する市民の声を反映させて議論することが必要だと感じました。しかしながら老朽化も激しいことから早急に本格的な議論へと進める必要性があると感じます。

なお、調査実施には至りませんでした。豊川市民病院への救急搬送アクセス確保については、5月23日に請願書が提出され、6月19日の総務委員会で審査しました。市議会第2回定例会で、アクセスについては市民病院周辺道路渋滞対応検討委員会が検討を行っているとのことでしたが、救急要請は年々

増加している現状があります。スムーズな搬送と一般外来者及び周辺住民に迷惑をかけず、搬送されている患者の負担を軽減するためにも、早急に議論する必要性を感じます。

別紙

<調査経過>

平成30年6月19日（火）

「調査事項・視察項目の決定」

平成30年10月3日（水）～5日（金）

「視察の実施」

3日 山形県天童市 「ふるさと納税」について

4日 福島県郡山市 「郡山市シティセールス基本方針」について

5日 埼玉県桶川市 「新庁舎建設」について